生徒活動報告

関西宝生流学生能楽連盟秋季大会＜能楽部＞

12 月 18 日、京都大江能楽堂で、開催された大学生の大会に、高校生ながら出場させていただき、仕舞「高砂」「経政」（つねまさ）を舞いました。

Zoom における大阪府教育庁主催 国際会議＜国際交流 1、2 年生 3 名＞

インド、インドネシア、フィリピンなどアジアの数か国と、日本の総勢 140 名ほどの高校生がリモートで「SDG s 全ての人々が健康で豊かに生きる、持続可能な社会づくり」というテーマで国際会議を開きました。「高校生の自分たちに何ができるのか」ということをすべて英語でディスカッションし、それぞれのグループで発表を行いました。

新今宮駅前『さんかくち』リニューアル企画 ＜1 ～ 3 年有志生徒　30 名＞

南海電鉄・TKD 株式会社と今宮高校がコラボで地域活性化を目指すプロジェクトがスタートしました。新今宮駅高架下にある『さんかくち』の春のリニューアルに向けて、エントランスのデザインやメニューの考案などを企業と会議を行っています。

新標準服＆エンブレム

エンブレム

多様性へ配慮し今年度から男用、女用→A、B、C と名称が変更された標準服ですが、来年度から新デザインになります！誰もが自分らしさを持って標準服を選びいきいきと活動してほしいですね。投票で決定したエンブレムはこちら！

在校生の皆さんへの記念品は簡易テント 2 張です。体育祭、文化祭、いろんな場面で今高生が快適に存分に力を発揮できるよう先生方が選んで下さいました。来年もその後もずっと、皆さんが高校生活を元気に楽しんでいけますように！

『HOT TOPIC!!』

© 金城宗幸・ノ村優介／講談社

マンガ既刊 22 巻・小説全 2 巻

昨年サッカーワールドカップで日本もかなり熱狂しましたが、丁度同時期あたりに【ブルーロック】というアニメが放映されました。

なんとその原作者は我が今宮高校総合学科 8 期生の金城宗幸さんです。2021年第 45 回講談社漫画賞少年部門で受賞されました。

他にも TV ドラマにもなった作品などあります。

PTA からウォーター クーラーの寄贈

校舎内の 2 階～4 階にウォータークーラー合計 3 台を PTA よりご寄贈いただきました。有効に使わせていただいております。ありがとうございました。

編集後記

令和 4 年度が終わります。存分に楽しめましたか？「100 万人に 1 人の存在になる方法 / 藤原和博著」自分はたいしたことない。そう思っていませんか？あなたの中に 100 万人に 1 人の才能が眠っています。100 人中なら 1 番やわ！ってことないですか？自覚できない自分の価値もあるので、他者にも聞いてみましょう。そんな才能、3 つくらいなら誰もが持っています。3 つ掛け合わせると、なんとあなたにしかない 100 万人に 1 人の才能になるんです。それを見つけたら、一緒に「革命のファンファーレ / 西野亮廣著」を鳴らしていきましょう♪

令和 5 年度は「天を味方につける生き方 / 山納銀之輔著」が出来るかもしれません。

いまみや

今宮PTA新聞
115
2023. 3. 1
発　行
大阪府立今宮高等学校
PTA広報委員会
大阪市浪速区戎本町2-7-39
☎06-6641-2612(代表)

25 期生保護者の皆様へ

校　長　安田　幸一

卒業を迎えられる総合学科 25 期生の保護者の皆さま、お子さまのご卒業を心よりお祝い申し上げます。

また、共生推進教室 1 期生の保護者の皆さま、本校での学びを修了されたことを祝福するとともに、ともに学ぶことのすばらしさ、大切さを実感することができたことに感謝します。

さてこれからの社会がどう変化していくのか不安を感じている方も多いのではないでしょうか。そのような中でも不安を解決するためには多様性を尊重し合える感性が非常に大切なことであると感じています。そんな学びが今宮高校では展開されていたと思います。そうしていろいろなことを経験したことが活かされて、多様性を尊重できるように生きてほしいと願います。そうすることで、だれもが安心を感じることができ、各々の成長が促進されていくのだと思います。生徒の皆さんには個人の夢も持ってほしいと思っていますが、社会全体が良くなることを願う夢も持ってほしいと思っています。その第一歩が多様性の尊重だと言っても過言ではありません。

先を見通しにくい社会にお子様を送り出す保護者の皆さまの思いを想像しますと、不安と期待とが交錯する思いではないかと思います。しかしこれからは彼らを“大人扱い”していきましょう。何と言っても「18 歳成人」1 期生なのです。私たちは彼らにこれからの社会を託さなければなりません。そう考えると今日の日はさらにすばらしくめでたい節目だと言えるのではないでしょうか。

私たち教職員は、生徒たちの母校をますます発展させることができるよう頑張ってまいります。時代のなかで変化を遂げながらも、「磨け知性、輝け個性」の理念を忘れることなく今宮高校の教育を継続していきます。今後も今宮高校を応援していただければ嬉しいです。

保護者の皆さまには 3 年間、今宮高校の運営にご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

卒業生の皆さんと保護者の皆さまのこれからのご多幸を祈願し、お祝いのことばとさせていただきます。

自分の力を信じて

PTA 会長　中陳ゆかり

総合学科 25 期生・共生推進教室 1 期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

保護者の皆様におかれましては、心よりお祝い申し上げます。不安の中始まった高校生活。保護者としては、見守るしかないもどかしい日々であったのではないでしょうか。ご卒業の時を迎え、感慨もひとしおと存じます。

先生方には、この 3 年間子どもたちを全力で支えていただき、保護者を代表し感謝申し上げます。行き先を変更することなく行われた、北海道への修学旅行。「子どもたちに楽しい思い出を」との先生方の熱い思いに、奇跡を起こしていただいたと、思い出す度に胸が熱くなります。

さて卒業生のみなさんの 3 年間は、数々の楽しい思い出に彩られていることでしょう。特にこの一年は、最上級生として体育祭、文化祭、部活動等を盛り上げましたね。様々な壁にぶつかりながらもやり遂げたみなさんの笑顔は、何よりも輝いて見えました。総合学科の特色ある授業も、難しい社会的課題に向き合うなど、得がたい学びとなったことと思います。コロナ禍の学校生活に対して、悔しい思いをいくつも抱えたことでしょう。その中でみなさんは試行錯誤しながら、困難を乗り越え、確実に力をつけました。自分では気付かなくても、見守る私たちの目には、成長したみなさんの姿がたくましく映っています。

「自分の力」は自分が思うより大きいもの。自分を信じて、これからの人生を力強く歩んで欲しい。みなさん一人ひとりが人生の主役です。伝統ある今宮高校の卒業生である誇りを胸に、前を向き、伸び伸びと自分らしく人生を歩んで下さい。みなさんにはその力があります。卒業生のみなさんにエールを贈り、お祝いの言葉といたします。

第25期生卒業おめでとう!!

「ドキドキワクワクな人生を楽しんで」　1組　嶋田遼子

25 期生のみなさん、卒業おめでとうございます。

担任になることが急に決まった 2021年。初めての担任、知らない学年、不安で仕方なかったです。でも、25 期のみんなは優しくて面白くて頑張り屋で人の痛みがわかって…挙げたらきりがないくらい。本当に素敵な人たちであふれていました。みなさんからたくさんのことを学び、成長させてもらいました。2年間本当にありがとう。

突然ですが、人間は年齢が上がるにつれて無難な道を選び、失敗を恐れるようになると思いませんか？それってとっても勿体ない！と私は思います。せっかく人間に生まれてきたんです。たくさんチャレンジして、経験して、失敗して、色んな感情に出会ってほしいと思います。つまずいたっていいじゃないですか。つまずいたからこそ知ることだってあります。色んなことを経験した人は、厚みのある人間になると思います。人間に生まれた今を存分に楽しんでください。来世は何になっているかわかりませんよ。

最後にもう 1 つ、心のどこかに置いといてほしいなと思うことを書きます。今後、人生に関わる選択を迫られる場面が増えてきます。どう進むか迷ったときは、その道に進んだ自分を想像してみてください。ワクワクしたら大丈夫。自分を信じて進んでください。もしワクワクしている自分を想像できないなら、もう一度考え直してみてほしいです。なぜなら、9 割がハラハラドキドキの険しい道のりでも、1 割の心からのワクワクがあれば、不思議と頑張れるからです。落ち込んでも前を向けるんです。私だけかな？でもこれは間違ってないと思います。

みなさんがたくさんの経験をしてワクワクする人生を歩めることを願っています。

「3年間ありがとう！」　6組　日野有梨

流行語の特別賞に「青春って、すごく密なので」という言葉が選ばれました。皆さんは、高校生活のどういうところに「密」を感じましたか？

教室には、同じクラスの人や選択授業で一緒になる人が沢山居て、お昼ご飯は誰かと食べ、移動教室はお話しをしながら小走りしたことでしょう。事あるごとにペアワークやグループ発表がやってきて、体育の授業では否応無しにチームに別れ、対決させられたと思います。そして、クラス替えがあり、また新たな仲間と出会ったはずです。放課後は、気の合う人達と遊びに行く人もいれば、悩み、苦しみ、そして達成感を感じた部活動に全力をかけた人もいましたね。よく頑張りました。

人との関わりも、日々の忙しさも、そして熱量、喜怒哀楽の連続、やっぱり青春は、人生で一番「密」だと思います。

当たり前のように友人が増えることや、そばに居てくれることは、大人になるとすごく貴重なことです。「親しい友人がいない」ということが社会問題になっているようです。今、悩みを相談できる人、しょうもない話を永遠にできる人が居るならどうぞ大切にしてください。間違いなく私もこれまで、友人や先輩・後輩、仲間に支えられて今があります。これからも沢山支えて貰う気まんまんです。

そして、自分自身も大切な人を支える存在でありたいものです。ただし、「自分に余裕がある時は」で十分だと思います。どう？ハードル低いでしょう？今は良くても、ご縁を大切にしない人に「良い縁」は巡ってこないそうです。根拠はないけど、まぁ、往々にしてそんなものなのだと思います。

25 期の皆さんとのご縁は、とても素晴らしいものでした。楽しく素敵な3年間を一緒に過ごさせてくれてありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです。心優しく、可能性に溢れた皆さんは、一人ひとりがとても魅力的ですね。胸を張って毅然と、頑張ってください！

「敵を知り己を知る」　2組　金戸慈乃

卒業おめでとうございます。心からのお祝いとともに、紀元前 5 世紀の軍事思想家『孫子』の有名な一節を贈ります。

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」敵の実力と、自分の実力と、両方をきちんと知っていたら、戦において負けることはないという意味ですが、この言葉には続きがあります。「敵を知らずして己を知れば、一勝一負す。」つまり、自分の実力を知っているだけで敵の実力を分かっていなかったら、勝ちもするが負けもする。更に「敵を知らず己を知らざれば、戦うごとに必ず危うし。」両方の実力がわかってなかったら、必ず負けるということです。

『孫子』は、敵と己の実力を客観的に知ることの大切さを説いたわけですが、戦いだけではなく人生の様々な局面でも当てはまる考え方です。例えば、「大学入試」。合格したい大学の学力レベルと自分の実力を正確に把握し、合格に向けた対策と努力をしなければうまく行きません。「就職」では、入社したい会社はどんな人材を必要とし、また自分は求められる能力・スキルを持っているのか。合格に向けて、大学在学中に自分の能力・スキルを高める必要があるでしょう。「結婚」では相手と自分の人間性・価値観をしっかり見極めなければ「あ、こんなはずじゃなかった」ということも往々にして起こりえます。

高校卒業後、様々な場面で選択を迫られ決断せねばならないことも多々あると思います。そんな時、軽く「ワンチャンやってみる」ではなく、この『孫子』の一節を思い出し実践してもらえたら、人生が安定し、幸せに送ることができると思います。よい人生を送ってください。

「25 期の皆さん、よく頑張りましたね」　3組　増田眞由美

25 期の皆さん、卒業おめでとうございます。互いを思いやり、日々成長していく皆さんと共に過ごせた時間をありがとう。いつの間にか、皆さんと安心して過ごせていました。

目的を達成しようと進むとき、その時点での目的達成の可否が重要であるのかどうか、考えたことはありますか。可であっても、そうでなくても、人生の最終地点に立つまで正解はわからないのです。その時点で可であっても、どこかで目的の方向は急に変わるかもしれません。しかし、経験したこと全ては自己の中に蓄積されてゆきます。どの経験がその後の人生に一番影響するか、つまり、どの経験が正解だったのかなどということはわかりません。大人と呼ばれる人たちは、そのどれもが自己の人生に案外役に立ったと、あの時経験しておいて良かったと感じたことがあるのではないでしょうか。

この世に生まれてきたからには、信頼できる人の意見も参考に、進みたい方向に進んでみましょう。自分で、自分の目的に向かい、一つ一つ結果を得て、また進みましょう。

私からは最後に一つだけ。人間の脳は、楽な方が良く見えるように、常にバイアスをかけているそうです。どちらの道に進むか迷った時には、そのことを忘れないようにしてください。

皆さんは自分で気づいていない良さをまだまだたくさん持っていますよ。自信をもって進んでいってください。

「卒業していくみなさんに」　4組　梁　清里

25期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

入学から何かと制限のある中、行事に部活動に、創意工夫しながらいつも前向きに全力で取り組み、ひとつひとつを楽しんできたみなさんから、たくさんのエネルギーをもらいました。また進路実現に向け、悩みながらもひたむきに勉強に打ち込む姿に、成長を感じました。みんなと過ごせた 3 年間は宝物です。本当にありがとう。

2 年からは生徒指導担当となり、それまでとは違う形でもみんなと関わることとなりました。その中で、私が 1 番大切にしていたことは、「正直に、誠実に」ということです。人は完璧ではありません。間違ったりごまかしたくなることもあります。しかしそんな時こそ自分と正直に向き合って欲しいと思い、話をしてきました。自分自身を振り返り、見つめて、成長させていくことができるのは、結局自分自身だと思うからです。

これからの世の中は目まぐるしく環境が変化し、将来の予測が難しい時代がやってくると言われています。難題に立ち向かうこともあるでしょう。そんな中で皆さんが高校生活で培ってきた誠実さ、ひたむきさがきっと役に立ってくると思います。どんな環境の中でも強くまっすぐに幹を伸ばす大樹のように、これからも成長し続けてください。

最後にもう一つ。これからの人生、色々なことがあると思います。しんどいとき、困ったとき、周りに助けを求めたり、ちょっと休憩したりすることも大切です。無理はし過ぎずくれぐれも身体には気をつけて。みなさんのご活躍をお祈りしています。

「卒業してからも」　5組　柴田浩之

まずはじめに、25 期生みなさん、あまり面識のなかった私を受け入れてくれて、とても感謝しております。特に、十年ぶりのクラス担任（全日制）をもつということで、少なからず緊張していた私を、3 年 5 組のみなさんがすんなりと受け入れてくれたことに、とても安堵しました。おかげで、どれだけの支援ができたかは分かりませんが、何とか担任を 1 年間務めることができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

25 期生のみなさん、卒業おめでとうございます。期待を胸にふくらませ臨んだ入学してからの 3 年間は、あっという間だったでしょう。「こんな高校生活を送ろう」「あんなこともしてみたい」「こんな大学に行きたい」など、多くの希望をもって入学してきたことでしょう。では、その 3 年間を振り返って、みなさんはどれくらい思い描いた自分になれたでしょうか。すべて実現できたという人、逆にほとんど実現できなかった人とさまざまだと思います。もし、実現できなかったのであれば、次の3年後には思い描いた自分になれるよう、精一杯の努力をしてみましょう。みなさんにはその時間が十分あります。また、やり直しができる若さがあります。前へ前へと進んでいってください。一方、思い描いた自分になれた人も、きっと今がゴールではないはずです。何をゴールとするかは難しい問題ではありますが、少なくとも、途上にあるはずです。先を見据えて、これからも努力を続けていってください。

小言のようなメッセージになってしまい、申し訳ありません。この3月に定年を迎える教員の最後のメッセージだと思い、お許しください。

「25 期生のみなさんへ」　第 1 学年主任　白石亮次

25 期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

私は、みなさんが 2 年生の時の授業や女子硬式テニス部の活動で関わらせていただきました。まっすぐで一生懸命な姿からは、私自身もたくさん元気をもらっていました。3 年生になり、受験や進路決定という壁に立ち向かう姿からは、頼もしさも感じていました。

卒業するみなさんに、私が大切にしている言葉を伝えます。「環境のせいにしてはいけない。その環境でどれだけ頑張れるかがその人の価値を決める」

私が以前勤めていた学校の尊敬する先生から、日々言われ続けた言葉です。環境のせいにして諦めたり、妥協したりすることは簡単です。その環境の中で、工夫し、努力を続けることで環境を変えていく、その過程が成長につながるのです。

これからみなさんの前には、大きな壁がたくさん訪れるでしょう。一歩ずつ、自分のペースで乗り越えていってください。時には仲間に相談したり、協力したりすることも大切です。壁を乗り越えた先には、最高の景色や感動が待っているはずです。みなさんのこれからのご活躍を楽しみにしています。

「卒業生のみなさんへ」　第 3 学年主任　三原生江

25 期生のみなさん、卒業おめでとう。そして、3 年間ありがとう。

新型コロナ流行とともに、みなさんの高校生活が始まりました。初めて全員が集まれたのは 6 月 15 日。あの日、体育館の舞台の前から、みなさんひとりひとりの目を見渡した時の感動は忘れられません。2 カ月以上オンラインでのやり取りがあったので、「この子たちにやっと会えた」という思いはひとしおでした。

そして私たちは、マスクをした顔しか知らないままに、卒業式を迎えます。卒業記念品のイラストとメッセージを見ましたか？「May I see smiles on everyone ‘s face without masks?」本当にその通りです。

25 期のみなさんは、新型コロナと闘いながら過ごした 3 年間で、「耐える力」、「臨機応変に対応する力」、「人の痛みを思いやる力」を嫌というほど身につけたでしょう。それらはとても大切な力で、生きていく上できっと役に立ちます。

けれども、「完成形の見通しを持って計画的にものごとを進める力」、「自分の痛みや本当の思いに気づく力」は不足しているかもしれません。

人類は、これまでも感染症との闘いを乗り越えてきました。いつか新型コロナとの闘いも終わるでしょう。その時には是非、気づかなかった自らの痛みを癒やし、ふたをしていた本当の思いに目を向け、大きな夢を持って恐れずに行動し、成功体験を積んでください。そして、必ず幸せになってください。みなさんのますますのご活躍と健康を心からお祈りしています。

「25 期生のみなさんへ」　第 2 学年主任　内藤嘉信

25 期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍において、修学旅行が延期になったり、様々な障壁があり、大変だったと思います。私はみなさんが 1 年生のときに体育と保健の授業を担当し、楽しませてもらいました。次年度に 26 期生の学年主任になったことで、みなさんと関わる機会がクラブ活動以外ほとんどなくなりましたが、同じ校舎内で生活する 25 期生を見て、26 期生もこんな風に成長してほしいなと思うことがたくさんありました。今後社会に出ても、大いに活躍していってくれることを期待しています。

私の好きな言葉の中に、「自分を励ましてくれるのは過去の自分だけ」という言葉があります。今後の人生でつまづいたり苦しんだりしたときに、この高校 3 年間のがんばりがきっと励みになるはずです。

これからみなさんはとてもたくさんの人たちと出会い、とてもたくさんの経験をします。どうか無限の可能性に溢れた人生を謳歌してください。